

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「クラブと地区の
変革をめざそう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「しなやかな変化で
奉仕を高めましょう」



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度

国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー

2560地区ガバナー 新保 清久

高田ロータリー会長 橋詰 敏一

幹事 田中 正人

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員

箕輪 賢一 堀井 靖功 渡邊 隆 山田 守

小池 猛紀

第28回例会 ■ 2月9日(金)

No.28

会長挨拶 ● 橋詰 敏一



先週もそうでしたが、今日金曜日は天気の当り日で、一週間振りの天気で広がる雪原がまばゆく輝いておりました。白と青の「黒みがかった緑」の景色は、私は好きです。雪国高田（くびき野）は美しいなあと思います。当社近くの北城公園の桜の「つぼみ」は、まだまだ小さく硬そうです。厳しい寒さで鳥も餌が無く、ついばんでしまったのか、枝の上の方の芽がスカスカしているのが気になります。春の美しさに影響しない事を祈ります。

今日は、楽しみにしておりました「オークション」です。毎日を忙しく働かれているメンバーの皆さんにとって、「心」の落ち着きを与えてくれるのはロータリーの例会であり、本日のような親睦会であると思っております。今日、たまたまNHK ラジオで、こんな話をしておりました。ヒ

マラヤ登山の折り、地元ヘルパーが厳しいルートで一時休憩し、そろそろ出発と登山家が言っても何々動かない。即すとヘルパーリーダーは、「私たちは少し急ぎ過ぎた。心が追いついて来るまで、今しばらくここに居ます」と。体と心のバランスを言い得た名言と感じました。

今日は、体には美味しい料理とお酒を、心には奉仕の精神で栄養を与えて下さい。宜しくお願い致します。

出席報告

出席率 100%

メイクアップ

大谷光夫君・本山秀樹君・水上喜芳君（2/10 三年度三役会議）

石倉 悟君・チャールズ・C・ストラットン君（2/11 派遣学生オリエンテーション）

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会財団設立50周年記念式典に参加して (2018年2月4日：グランドニッコー東京台場)

パストガバナー 東山 昕也 君

米山梅吉生誕 150 周年の記念すべき日に、嬉しくも財団設立 50 周年記念式典が開催されました。

米山記念奨学事業は、1952 年に東京 RC が米山梅吉翁の遺徳を記念して奨学事業を構想し、タ

イ人留学生のソムチャード・ラタナチャタ氏を招聘したのが始まりでした。この事業はやがて全国共同事業に発展し、諸先輩方の並々ならぬ努力が実り、1967 年に念願の財団法人が設立されまし

た。今日までに125の国、地域出身の19,808人の外国人留学生を支援し、世界で活躍する平和の「懸け橋」となる人材を育成して参りました。これはひとえに長年に亘る全国のロータリアンのご支援の賜物です。

2014年の国際ロータリー理事会で、米山学友が「ロータリー学友」として承認され、米山学友に世界のロータリーへの門戸が開かれました。

米山記念奨学事業の最大の財産は学友です。奨学生は事業の特色である世話クラブとカウンセラー制度により、ロータリアンとの交流を通じ日本社会、伝統文化と和の心、ロータリーの理念、

奉仕の実践を学びます。ロータリアンから“信頼・希望・夢”のバトンを手渡された米山学友は国内33海外9と次々と学友会を組織し、地域社会の発展と課題解決に向け様々な奉仕活動をしています。環境・開発・人権・紛争・多民族共生・人間の安全保障という問題に直面する国際社会では世界のロータリアンと米山学友は各地で協働して希望ある社会づくりを担うことができます。米山奨学事業は人材育成という未来への教育投資です。米山精神を旗印に、より良い世界、国際理解と親善、平和構築に向けて前進いたしましょう。

オークション

今年も恒例のオークションが、2月9日(金)高田ターミナルホテルにて開催されました。



売上総額 223,000 円(協力金含む)

オークションの品物・協力金のご提供ありがとうございました。